

## 参考資料について

### 参考資料-1. 2001年8月23日号 Nature 誌の記事

Nature とその関連誌は、「投稿論文に研究資金提供などの経済的な利害関係の明示を求める」方針を採ることを公表した。最も著明な自然科学誌によるこの方針は、利益相反への対応はもはや科学者にとって世界標準になったことを示唆している。Conflicts of interest. What? (利益相反なんて関係ないよ) では済まなくなってきた。

([http://www.nature.com/nature/journal/v412/n6849/full/412751a0\\_fs.html](http://www.nature.com/nature/journal/v412/n6849/full/412751a0_fs.html))

### 参考資料-2. Business-Higher Education Forum 報告書の概要

American Council of Education と National Alliance of Business が共同で設立した題記フォーラムは、2年間にわたって実施した「産学共同研究に関する調査」に基づいて利益相反を含む産学連携の現状と問題点を指摘した報告書を作成した。参考資料-2はその概要を示す。

(<http://www.acenet.edu/bookstore/index.cfm?pubID=230>).

### 参考資料-3. 産学連携に関する精選された事例

参考資料-2に示した報告書に記載されている産学連携の精選された5つの事例。下記のように、大半の事例に利益相反に関連した記載があるので、利益相反が産学連携のどのような場面で生じうるかを知るために参照していただきたい。

#### 「ワシントン大学-モンサント：20年の実績」

- 大学への資金提供が特定の会社に偏らない配慮の必要性。
- 会社の資金が大学の研究にバイアスをかけていないかどうかを大学院生への質問でチェック。

#### 「バークレー-ノバルティス：成功への険しい道のり」

- 事例全体が特定の会社と大学との間に起こりうる『大学レベルの利益相反』を示す。
- 特定の企業が優先的に大学の研究にアクセスすることがどのように正当化されるか。
- 大学人は産学連携活動にさまざまな反応を示す。

#### 「バイオレックス株式会社：技術移転事務所ができること、できないこと」

- 利益相反を考慮して助教授が会社の立ち上げに際して一時休職。

#### 「米国海軍研究本部：政府-学界-産業の共同研究」

- 本事例には特記すべき利益相反の事例はないが、官の関与する連携のありかたについて示唆。

#### 「リボザイム製薬㈱：小企業からの視点」

- 大学の自由になる資金の魅力：アメリカ版奨学寄附金。
- 多額の資金提供の見返りとして特定の会社に大学の研究成果へのアクセス権を全面的に与えることの問題点。
- 大学が守るべき学問の自由の確保等の基本的な要件と企業による利益追求のバランス。